

令和3年度 天童市立高揃小学校だより

天童市立高揃小学校
〒994-0068 天童市大字高揃北239番地
TEL023-655-2051 Fax023-655-7650

ましみずの里



令和3年度 第9号 令和3年10月11日

校長 樋口良彦

〒994-0068 天童市大字高揃北239番地

TEL023-655-2051 Fax023-655-7650



学校教育目標 「自ら学び、ともに伸びる 一夢に向かう くらしづくりー」

めざす子供像 自ら考え表現し合う子、自ら開きわかり合う子、自ら挑み高め合う子

児童が躍動し、更に「絆」を深めた徒競走記録会

— 今できる「最高」と「最善」を求めた営み —

雨天のため延期となった「徒競走記録会」を、10月4日（月）の午前に、本校グラウンドで開催しました。快晴無風という最高のコンディションのもと、自身の人生最高記録をめざし児童は存分に駆け抜けました。スタートの際に名前を呼ばれ少し恥ずかしそうにしながら、胸を張り手を挙げる姿がありました。隣を走る仲間負けまいと、歯を食いしばる姿がありました。ゴール直後に歩み寄り、互いの頑張りを称える姿がありました。仲間の走りに対しては、テントの中で声を出さずに拍手を送り続ける姿がありました。今の自分にできる「最高」と「最善」を求めた時間が、確かにそこにありました。

来場された数多くの保護者の皆様には、たくさんの拍手で応援いただきました。全ての児童に対し、惜しみなく応援される皆様のお姿は、児童とも重なりました。私は、「みんなで生活し、みんなで頑張るからこそ一人一人がもっと成長できる」ことを、この日改めて教えていただきました。ありがとうございました。



令和3年度徒競走記録会から（令和3年10月4日）

思いは「金メダル」と「激励メッセージ」となり、 そして「お礼」となってこだまする

— いつもと違うからこそ生まれる「創意」と「絆」 —

とても嬉しい瞬間も生まれました。コロナ禍によって「徒競走記録会」とはなったものの、その状況に甘んじる子供たちではありませんでした。全校の児童と一緒に時間を過ごし、競技に没頭・熱中することはできなくても、ともに力を合わせるはずだった仲間（下級生）の成長を願い、頑張りを期待する真っすぐな思いを伝えようと、素敵な活動が展開されました。

1 6年生からの「手作りの金メダル」

6年生の教室で、ふとこんな声があがったようです。「今の1・2年生は、運動会を経験していないね。私たちは、何度か経験できたけど…。だから、自分たち6年生から1・2年生に、何かしてあげたいよね…。」そんなことをきっかけとして、手作りの金メダルづくりが始まりました。9月中旬から、6年生全員が時間を見つけて取り組み、1年から5年生までの児童全員に贈る270個近くのメダルを完成させました。

贈呈は、記録会後に6年生が各クラスに出向き、労いの言葉を添えて。金色に輝くメダルを受け取った児童には笑顔の花が咲きました。特に1年生には、嬉しいだけでなく、誇らしげな顔もありました。



2 5年生から2年生へ「激励のメッセージ」

記録会は、6つの学年の児童が一斉に集合する訳にはいきません。そこで、2つの学年が同じ時間帯で競技に臨むこととしました。5年生と一緒に競技するのは2年生。体育では別々に活動しますが、記録会前には合同で活動する時間を取り、互いに声援を送る機会をもちました。

5年の1・2組は、2年の1・2組に、児童全員が「激励メッセージ」を書きました。それをクラス毎1枚にまとめ、記録会前に2年教室に持参し贈呈。思わぬことに、2年生は目を白黒しつつも、自分たちのことを想ってくれる人の存在を知るとともに、当日も精一杯頑張ることを決意しました。



そして、それらが「お礼」を伝える活動となり…

徒競走記録会を終えてからのことです。6年生手作りの金メダルに感動した5年生は、感謝の思いを満面の笑顔とタブレットと黒板で伝えました。2年生は、6年生と5年生への感謝をメッセージカードに記しました。ありがたいと思ったことや嬉しかったことを、「形」として示す活動も生まれました。感染対策のため、8月末から9月までは縦割の活動ができない日々が続きましたが、児童には同じ校舎で生活する仲間の思いを豊かに想像し、自分から動き出す逞しさと優しさが生まれたことを、頼もしく、そして嬉しく思っています。